

検討会（第 1 回）における議事概要及び各委員の主な意見と対応について

日 時：令和 3 年 6 月 16 日 10:00～11:30（Web 開催）

出席委員：高見沢委員、中村委員、鈴木委員、福田委員

1 議事概要

（1）会長の選任について

- ・検討会設置要綱に基づき、互選により、高見沢実委員を会長とする。

（2）会議の公開・非公開の決定について

- ・会議は、神奈川県情報公開条例に基づき、公開とする。

（3）第 8 回線引き見直しに向けた検討について

- ・検討会では、次の論点について議論していく。
 - 論点 1 地域の実情に応じた集約型都市構造のあり方
 - 論点 2 大規模災害などを想定した土地利用の規制・誘導のあり方
 - 論点 3 都市計画区域マスタープランのあり方
- ・次回検討会以降、論点 1～3 について議論を深め、第 4 回検討会で提言を出す。
- ・防災について次回以降議論する際、臨時委員を召集する。

2 各委員の主な意見と対応

（1）論点 1（集約型）の主な意見と対応

No	主な意見	対応
1	・人口減少が進む地域では、地元のニーズに応えながら、何らかの施策を打つことが県全体にも寄与するというストーリーが立てられると良い。	・第 2 回検討会で議論
2	・人口減少が進む中、人口の地域的な偏在が大きくなるが、特に県西部や三浦半島では地元のニーズをどのように受け止めていくかが今後の検討課題となる。	
3	・設定した保留区域のうち、4 分の 1 程度しか編入が進んでいないが、保留設定したときの編入の見込みを立てた方法の確かさや、実際にどういう土地で土地利用が展開しそうなのかを検証し、それらを踏まえて対応する必要がある。	・資料 2

(2) 論点2 (災害) の主な意見と対応

No	主な意見	対応
1	・第7回線引き見直し以降に、蓄積されてきた災害情報をどのように基本的基準や区域マスに織り込んでいくのか。	・第2回検討会で議論
2	・論点1は都市を集約していく議論、論点2はより安全性を高める議論である。いきなり市街化区域の拡大や縮小にいかないまでも、「どこに活動を展開し、どこは活動をやめるべきか」といった大きな方向性を県として打ち出せると良い。	
3	・最近では、防災や緑の観点から、潤いのある都市づくりの要望を様々な方面からいただいている。緑や潤いといった視点も取り入れた方が良くと思う。	

(3) 論点3 (広域化) の主な意見と対応

No	主な意見	対応
1	・第7回線引き見直しにおける区域マスの広域化等の取組を評価する必要がある。	・資料2
2	・政令市に関しては、県の権限が及ばないとしても、区域区分の大きな方向性などについては県の考え方を受けて検討いただくことが望ましい。	・資料3